

越谷市議会議員

てっ ひさ



# 橋本哲寿活動報告

社会福祉士  
ケアマネジャー



発行：橋本哲寿事務所 越谷市千間台東2-366-6 Tel 048-951-4414 Fax 048-951-4408

http://hashimoto-tetsuhisa.com • E-mail info@hashimoto-tetsuhisa.com

【所属会派】 清流越谷 【常任委員会】 民生常任委員会 副委員長

【その他の役割】 越谷松伏水道議会議員・越谷市都市計画審議会委員・議会報専門協議会委員・図書室協議会委員

## すべての人が自分らしく生きられる社会を創ります!

### 『超高齢社会に対応するまちづくりを、越谷から世界へ』

～社会福祉士・ケアマネジャーとして現場の知恵を形にします!～

#### ●地域包括ケアシステムの構築

- ◆行政に専門部署を設置
- ◆“医療と介護の連携拠点”を設置し、多職種がITを活用してリアルタイムに情報を共有できるシステムの構築
- ◆行政主導による医療職、看護職向けの研修を新設
- ◆関係団体への積極的な支援
- ◆子どもから高齢者まで医療処置が必要な方が利用できるデイサービス・ショートステイ施設の設置
- ◆ドクターカー（医師派遣用自動車）の導入  
※ドクターカーとは、救急現場に一刻も早く医師が駆けつけて初期診療を行い、救命率を向上させることを目的としています。



JICAタイ人向けケアマネジメント研修に指導者として参加

#### ●介護予防でコミュニティの創生

- ◆身近な自治会館などで健康増進（介護予防・転倒防止）教室を開催 ★
- ◆一定期間介護給付を受け付けなかった場合の報奨制度の導入  
（介護保険料減額など）
- ◆地域包括支援センターにリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の配置

#### ★健康増進（介護予防・転倒防止）教室

##### 現状

自治会加入率が70%を切っている  
→ 地縁型コミュニティの希薄化  
世帯構造の変化  
→ 独居高齢者の増加

孤立死の増加、災害時の支援が届かない

##### 解決策

地域包括支援センター

介護予防・リハビリ関係団体

健康増進（介護予防・転倒防止）教室

自治会

自治会館

##### 効果

- コミュニティの創生 ●孤立死の減少
- 自治会館の利用率向上
- 医療・介護費の削減効果
- 高齢者就労・生きがい創り



## 他の議員や行政、関係団体等と連携を図りながら進めてきました。

- 地域包括ケアシステムワーキングチームを発足(県内初)
- 地域包括支援センター機能の充実
  - ・実務量に応じた職員加配
  - ・年一回以上の地域ケア会議を開催
- 大沢地区へ地域包括支援センターを設置
- 社会福祉士・精神保健福祉士の福祉専門職採用を実現(県内初)
- 越谷市保健所が開設
- 精神保健・医療・福祉の窓口を一本化
- 小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催
- 夜間急患診療所の開設
- 市立病院の医療連携室の体制を充実
- 市立病院の電子カルテ入力補助員の増員
- 緊急通報システムのオペレーションセンター方式化
- 障害者の相談支援事業所を1ヶ所から3ヶ所に拡充(市委託)
- 児童発達支援センターへ常勤作業療法士の配置
- スクールソーシャルワーカーを市独自で増員配置
- 特別支援学級・普通学級支援員の増員
- 越谷市災害時要援護者支援制度を創設
- 小中学校の洋式トイレ化を推進
- 小中学校へのエアコン設置が決定
- 保育所の定員を486名拡大
- 学童保育の定員を354名拡大
- 小・中学校への防災備蓄
- 小・中学校の震災対応マニュアルを整備
- 公共交通不便地域のミニバス試験運行
- 空き家条例を制定
- ふれあい公園へのトイレ・防球ネットの設置
- 街灯の設置、道路の舗装など



議員としての調査活動



ケアマネジャーとしての活動

東日本大震災復興支援



2011年10月21日～26日  
社団法人社会福祉士会から  
大槌町福祉課に派遣



市政報告会



行政調査



# 4年間頑張りました!

## 平成27年度当初予算が提案されました

一般会計	899億円 (対前年度比 4.3%増)
特別会計	(9会計)711億6,300万円 (対前年度比 11.9%増)
病院事業会計	117億5,300万円 (対前年度比 2.1%増)
総額	1,728億1,600万円 (対前年度比 6.8%増)